



鶴居村

議会だより

発行 鶴居村議会
編集 広報調査特別委員会

議会は村民の皆さんと村政を結ぶパイプ役です。

ヤーレン！ハーラン！



幌呂小中学校運動会

◆第2回定例会

◆一般質問

◆第3回臨時会

◆読者の声



第2回定例会が6月10日に招集され、会期を6月10日1日間とし、議長より諸般報告、村長より行政報告の後、議員4名、6項目の一般質問、平成22年度補正予算等議案15件を審議、原案通り可決し閉会しました。

諸 般 報 告

松井議長より3月11日以降6月9日までの諸般報告があり主なものとして、3月26日開催の釧路広域市町村圏事務組合定例会、5月27日～28日開催の道東4支庁管内町村議会議長会連絡協議会、6月3日～4日開催の北海道町村議会議長会定期総会について報告がありました。

又、釧路公立大学事務組合議会議員より第1回定例会の報告があり、平成22年度会計予算について歳入歳出総額1,225,700千円が決定された事、又、本村の負担額は31千円との説明がありました。

又、釧路北部消防事務組合議員より3月18日開催の第1回臨時会、5月19日開催の第2回臨時会の内容について報告がありました。

行 政 報 告

○日野浦村長より3月16日以降6月9日までの行政報告がありました。

- 1) 口蹄疫対策について
- 2) 談合情報の経緯について
- 3) 森林・林業再生プラン実践事業について



一般質問

村政のここが聞きたい 4人の議員が6項目質問

質問・答弁ともに要旨要約して掲載しました。

口蹄疫防止対策の万全を!!

消毒用消石灰を全戸に配布

久保田議員

日野浦村長

四月二十日、宮崎県で家畜伝染病口蹄疫が確認。その後感染が拡大を続け、大量の牛と豚が殺処分され、今だ感染終息のメドはなく非常事態宣言が続いています。

本村の基幹産業は、酪農、畜産であり、万が一本村で発生すると、村の産業が崩壊するので、危機感をもって侵入防止に取り組むべきであります。次の事項について伺います。

- ① 本村の具体的な口蹄疫対策について
- ② 観光行事やイベント等の取り組みについて
- ③ 宮崎県被害農家に対する支援、募金活動について

① 具体的な口蹄疫対策については、防疫対策の徹底に向け、村内全戸にリーフレットを配布、防災無線による注意喚起を行いました。

又、「家畜伝染病自衛防疫組合」役員会を開催、村内全農家に消石灰を配布し消毒の徹底に努めました。更に、庁舎、学校等関係施設の出入口に靴底消毒用マットを設置、農家への出入り時には、車両のタイヤや靴底等の消毒を実施しています。又、今後の対応については、六月四日「鶴居村口蹄疫侵入防止対策連絡会議」を組織し、万が一の発生に備えた体制等協議をなし、万全を図って

いくことになっていきます。

② 観光行事やイベントについては、家畜共進会は村内、村外問わず中止になっています。

又、村内の納涼まつり、仮装盆踊り、花火大会等は中止が決定されており、倉吉農業高校からの実習生受入についても今年中止しました。

その他の事業については、今後、関係者と協議し、十分情勢を考慮の上、適切に対応し

子宮頸がん予防ワクチンの接種を!! 公費負担実施に向け検討する

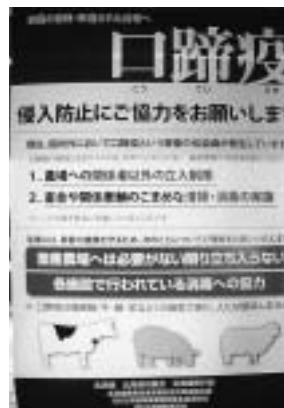
武藤議員

子宮頸がんは、現在全国で一年間におよそ一万五千人が発症し、その内三、五〇〇人程が死亡に至っているとのこと。

専門家によりますと、「二次予防」にあたるワクチン

て参ります。

③ 宮崎県被害農家に対する募金活動については、農業団体をはじめ、各方面において取り組まれておりますが、村としては、管内の自治体の動向を勘案しながら対応して参ります。



ン接種と「二次予防」にあたる細胞診検査で大部分の子宮頸がんの発症を防げるといわれています。ただこの予防接種には多額の費用をとまなう事から、なかなか接種を受けられないのが現状です。そこで公費負担により本

村でも未来ある子供達のためにこのワクチン接種に
取り組む事が出来ないか
伺います。

日野浦村長

子宮頸がんワクチンの
接種は、現在のところ予
防接種法に基づかない任
意の予防接種であります

が、全国的には公費で助
成する自治体が増えつつ
あり、本村においても子
宮頸がんワクチン接種の
公費負担実施について今
後、対象年齢、助成額や
委託医療機関等々、内部
で検討をしながら取り組
みたいと考えています。

地域活動支援センターの今後の方向性は？

センターのあり方等について関係者と協議

武藤議員

活動支援センター事業
は、昨年度まで社会福祉協
議会へ委託し運営をして
いましたが、本年度より住
民課が運営主体となりま
した。今後、どの様に運営
をされてゆくのか、その方
向性について伺います。

日野浦村長

事業開設当初において
十分な協議がなされない

まま事業実施したこと
に対し反省をしなければな
らない点がありますが、
今後の地域活動支援セン
ターのあり方につきまし
ては、鶴居村障がい者自
立支援協議会の委員でも
ある障がい者支援団体代
表者の方々と近日中に協
議の場を設けながら、本
村に相応しい地域活動支
援センターとするための
意見等を聞きながら取り
進めたいと考えています。

保育園の正職員定数のあり方は？

人的体制等について十分検討する

武藤議員

昨年度まで、幌呂・鶴
居保育園ともそれぞれ二
人の正職員と臨時職員で
運営されていましたが、
今年度より鶴居保育園で
は、正職員が一名体制と
なりましたが、運営上支
障はないのか。又、今後
の体制について伺います。

日野浦村長

鶴居保育園は、臨時職員
も含め人数的には問題が
ない気がしますが、その内

正職員が一名の体制で大
丈夫かと問われると、若干
問題がある様な気もいた
します。そこで鶴居と幌
呂の保育園の人的体制或
いは人員配置について、園
長を含めて十分検討した
いと思います。



鶴居保育園

鶴居村の防疫体制について

今後も適宜、適切に取り進めます

吉田議員

宮崎県で四月二十日国
内では十年ぶりとなる口

蹄疫の発生が確認され五
月三十一日現在一市四町
で牛、豚、山羊で三十万
頭を超える殺処分がされ

る爆発的な感染拡大を招
いています。被害農家の
方々には心から同情しま
すと共に、一日も早く終
息することを祈るところ
です。鶴居村に於いても
家畜伝染病自衛防疫組合
で検討され、石灰の無料
配布を実行されました。
農家も自ら防疫に取り組
んでおりますが、法定伝
染病のサルモネラ症や、
ヨーネ病の発症があり、
完治には数ヶ月から数年
かかり農家の精神的、肉
体的、金銭的な負担は計
り知れないものがありま
す。鶴居村の基幹産業で
ある酪農畜産の防疫体制
について、また、援助に
ついて村長の考えを伺い
ます。

日野浦村長

本村の基幹産業であり
ます酪農畜産の基礎的財
産である家畜を病気から
守る事は飼養者をはじめ

関係者にとっても大変重要な責務であります。本村には家畜防疫を目的とする「鶴居村家畜伝染病自衛防疫組合」が組織されており、当組合は春と秋の予防接種による防疫活動を主たる事業としており、二十一年度の実績は延べで八千頭への予防接種を行っており、またヨーネ病やサルモネラ症の発症に係る消毒作業やその後の定期検査等の支援等を行っております。

後も適宜、適切に取り進めて参ります。また、農家の自衛防疫対策に対する支援策については、従前の予防注射への一部助成は継続する事としておりますが、その他の支援策については、発生伝染病の種類や状況等を勘案しながら対応することとしております。



農家入口への石灰散布

今年には四名の退職者が出た事によるものと理解はしますが、しかしながら、その年々で配置される・されないという事では、役場組織の効率化等については疑問符がつくところであり、そこで、村長の指導の元職員間で協議をして頂き、機構改革に取り組んで頂きたい。

また、平成二十二年度から平成二十四年度まで六名の退職する職員がおりますが、今後の職員定数について、どの様に考えておられるのか伺います。

日野浦村長

少ない職員数でありながらも住民の為に信頼される役場を目指しながら現体制で事務事業の効率化に向け取り組んできた所であります。

ただ、平成二十二年から平成二十四年までに退

事務事業の効率化の為に機構改革を 次年度に向け早急に構築したい

大津議員

『役場組織の活性化や事務事業の効率化について』昨年も質問をしてお

りますが、現在の状況を見ますと、振興課には課長補佐がいらない、又二名いた補佐が課によっては一名になりました。



役場内

議会を傍聴しましょう

村政・議会はあなたのために……



手続きは議場の受付簿に記名するだけです
～お気軽においでください～

選 任

▼鶴居村固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了となる村固定資産評価審査委員会委員の同意が求められ、2名の方が全員一致で同意されました。



鶴居村幌呂
石脇征次郎氏

昭和16年10月6日生(再 任)



鶴居村久著呂
菱沼 岩男氏

昭和25年12月6日生(再 任)

● 釧路町村公平委員会委員の選任につき同意が求められ3名が同意されました。

やす 安	いけ 池	ひとし 仁氏	厚岸町
えん 遠	どう 藤	いち 一氏	弟子屈町
ば 馬	ぼ 場	かず 和	お 男氏
			白糠町

〈釧路市と定住自立圏形成に関する協定の締結〉


釧路市と定住自立圏形成に関する協定の締結について鶴居村が釧路市と定住自立圏形成に関する協定を締結することについて、鶴居村議会の議決すべき事件に関する条例に基づき、議会の議決を求める。

この定住自立圏は、地方において安心して暮らせる地域を形成し人の流れを創出することを目的に原則5万人以上の人口を有する中心市と周辺市町村が1対1の協定を積み重ねる結果として形成される圏域であり中心市との協定については、通勤通学割合が平成17年国勢調査の集計結果で19.4パーセントとなっており、釧路市への依存度が釧路町、白糠町に次ぐ立場にあるなど経済や生活圏等を同じくする地域として様々な分野で連携を図る。

釧路市との協定案につきましては、国が定める「定住自立圏構想推進要綱に基づき、生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化など、3つの視点から14の協定項目により締結しようとするものであります。またこれら協定項目に基づきながら、中心市である釧路市が具体的な連携の取り組みを示す概ね5年間の「定住自立圏共生ビジョン」を作成するため協定市町村における民間関係者の意見を幅広く反映させるため「圏域共生ビジョン懇談会」を今後設置していくこととしている。

平成21年度 繰越明許費

地方自治法213条に歳出予算の経費のうちその性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらせない見込みのあるものについては、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる。

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	款	項	事業名	金額	翌年度繰越額
2	1	役場庁舎等・屋上防水改修工事	27,930,000	27,930,000	8	1	全国瞬時警報システム設備工事	5,886,000	5,886,000
	1	移動通信施設整備事業	252,519,000	227,882,000	9	2	幌呂小学校体育館耐震改修工事	32,046,000	32,046,000
	3	戸籍電算システム導入業務委託	28,770,000	28,770,000		3	鶴居中学校体育館耐震補強工事実施設計委託	1,817,000	1,817,000
5	1	オンネナイ明渠土砂及び支障木撤去工事	2,100,000	2,100,000		4	鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリティイレ改修工事	2,678,000	2,678,000
	1	上幌呂地区道管草地整備事業(公共牧場中核型)事業負担金	41,871,000	11,200,000		5	村民プール鉄骨柱等補修工事	2,520,000	2,520,000
	1	鶴居牧野水道施設改修工事	35,143,000	35,143,000	合 計			487,896,000	432,537,000
	2	基幹作業道下雪裡A線業開設工事	6,402,000	6,361,000					
	2	基幹作業道下久著呂B線業開設工事	6,615,000	6,605,000					
7	1	鶴居市街東2条通改修舗装事業	28,369,000	28,369,000	役場庁舎防水工事				
	1	道路橋梁費	13,230,000	13,230,000					

役場庁舎防水工事

◆◆◆◆ 規 約 の 変 更 ◆◆◆◆

- ◎北海道市町村備荒資金組合理規の変更について
 - 「各支庁」を「北海道総合振興局及び北海道振興局の」に改める。
- ◎北海道町村議会議員公務災害補償等組合理規の変更について
 - 支庁管内を振興局管内に改める。
- ◎北海道市町村職員退職手当組合理規の変更について
 - 「各支庁」を「北海道総合振興局及び北海道振興局の」に改める。
- ◎北海道市町村総合事務組合理規の変更について
 - 「各支庁管内町村会長」を「各地区町村会長」に改める。

◆◆◆◆ 工事の請負契約の締結について ◆◆◆◆

1. 契約の目的 地域優良賃貸住宅建築主体工事
 2. 契約の方法 指名競争入札
 3. 契約の金額 57,015,000円
 4. 契約の相手方 阿寒郡鶴居村鶴居南3丁目3番地
株式会社 山口工務店
代表取締役 山口 成夫
-
1. 契約の目的 鶴居村携帯電話基地局鉄塔建設工事
 2. 契約の方法 指名競争入札
 3. 契約の金額 90,090,000円
 4. 契約の相手方 札幌市中央区南15条西11丁目2-38
サンワコムシスエンジニアリング株式会社
北海道支店 支店長 川出 健

補正予算

◎平成22年度鶴居村一般会計補正予算

▶歳入歳出それぞれ2,194千円を追加し総額を3,672,194千円とするものです。

- ① 「鶴居村子育てサポート制度」が拡充されました。村では「何らかの理由」により保護者が子供の育児に係る援助を必要とする場合に地域住民の相互援助の精神による支援サービスを実施していますが、料金が高額になる事から、利用しづらい現状にありましたが、総額220千円の補正計上により本年8月より村の助成事業として、利用料金を30分250円から100円に大幅に引き下げる事になりました。一方支援をする会員の報酬についても見直される事となりました。

詳細については、住民課まで連絡下さい。

- ② 財政調整基金、積立金として1,180千円
③ その他

◎平成22年度鶴居村診療所特別会計予算

▶歳入歳出それぞれ1,323千円を追加し総額を80,323千円とするものです。

- ① 在宅酸素療法管理委託料 514千円
② 生化学検査機器借上料 462千円
③ その他



意見書

農業生産基盤整備の促進を求める意見書

●国において、本道農業・農村の担い手が将来にわたり意欲と希望を持って営農ができるとともに、地域の個性を生かした多様な農業を展開できる、実効ある施策が実現されるように、次の事項について要望する。

1. 食糧供給力の確保を図るため、農業農村整備事業の必要な予算を確保すること。
2. 生産基盤整備の効果的、効率的な促進を図るため、コストの縮減や創意工夫を生かし地元負担の軽減を図ること。
3. 食料自給率向上や消費者・実需者のニーズに対応し、地域が計画していた施策整備のための必要な予算の確保を図ること。



1 番草収穫

臨時会

第3回臨時会

第3回臨時会が5月24日に開催され、報告1件、議案4件が審議され、原案通り可決承認されました。

▶ 専決処分

- ・ 鶴居村税条例の一部を改正する条例
- ・ 鶴居村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
国の税法改正により整備したものです。
- ・ 平成21年度一般会計補正予算
最終決算見込による補正

▶ 株式会社鶴居村振興公社経営状況の報告

株式会社 鶴居村振興公社

◎平成21年度 事業の経過報告

不景気の下で、北海道の観光客の入込数が大きく下回ったと報道される中、運動広場の利用人数は前年より12,142人増加、どさんこ牧場の利用人数も670人増加になりました。

『酪楽館』事業においても「第7回オールジャパンナチュラルチーズコンテスト」に於て、鶴居シルバーラベルチーズが最高位の「農林水産省生産局長賞」を受賞、前回のゴールドラベルに続く栄えある受賞となりました。

その他事業についても、概ね順調に業務を終了する事が出来ました。

◎平成22年度 事業の計画

「鶴居村パークゴルフ場管理事業」について指定管理者で、残任期間の2年間引き継ぐことになりその管理に万全を期して参ります。

「鶴居運動広場」「鶴居どさんこ牧場」事業については指定管理業務として、第3年次に取組みます。

「酪楽館」事業については、指定管理事業を同じように、売上金は公社収入に計上して取り組み、特に食品を扱う部門であり、衛生管理には十分配慮して当ります。

損益計算書

自：平成21年4月1日 至：平成22年3月31日

株式会社 鶴居村振興公社

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
【売上高】		
委託事業売上	59,108,700	
指定管理料	16,400,000	
公社直接収益	65,302,992	140,811,692
【売上原価】		
期首棚卸高	5,278,144	
運営部門原価	124,111,073	
期末棚卸高	- 5,045,370	124,343,847
売上総利益		16,467,845
【事業管理費】		16,423,224
営業利益		44,621
【事業外収益】		
受取利息	66,415	
雑収入	1,212,135	
退職給与引当金取崩益	173,450	1,452,000
【事業外費用】		
退職給付引当金繰入損	- 464,340	
雑損失	1,890	- 462,450
経常利益		1,959,071
税引前当期純利益		1,959,071
法人税住民税及事業税		378,700
当期純利益		1,580,371



鶴居運動広場



新ゴーカートコース

委員会活動

▼総務常任委員会

○所管事務調査の実施

一、調査項目

- (1) 議会の活性化について
- (2) 鶴居小学校建設候補地視察

二、調査日時

○平成二十二年六月十一日

三、出席委員

○全員

四、場所

○釧路市議会

○鶴居村

五、内容

- (1) 議会改革への取り組みの一環として、今回の所管事務調査は『一般質問について』調査を行う事とし、六月十一日に釧路市議会六月定例会を視察傍聴致しました。

釧路市議会では『時間制』で鶴居村議会では『一問一答制』でありますので、比較検討を行いながら調査を致しました。

(2) 六月十日に教育委員会

から説明がありました。鶴居村小学校の建設候補地を視察致しました。

引き続き進捗状況については、継続調査するものとする。

○閉会中の継続調査

一、事項

- (1) 子育て支援について
- (2) 議会の活性化について
- (3) 鶴居小学校改築について

▼産業常任委員会

○閉会中の継続調査

一、事項

- (1) 牛舎糞排水等(糞尿処理)について
- (2) 情報基盤整備について
- (3) 有害鳥獣対策について

▼議会運営委員会

○閉会中の継続調査

- (1) 次期定例会の会期日程等議会の運営に関する事項
- (2) 議長の諮問に関する事項

第一回議員協議会

去る四月二日議員協議会が開催されましたので報告します。

○協議内容

情報通信基盤整備事業について

産業課並びにコンサル(財)AVCC高度映像情報センター札幌事務所の職員から説明を受け、内容等について質疑応答をしました。内容は以下の通り。

○供用開始時期と内容は平成二十四年四月、防災無線、村内無料テレビ電話、観光情報配信サービス等

○総事業費は十四億五千万 内補助金二億七、八二五万円 残り起債他

○保守費用はインターネット契約数

により変わるので積算は二十二年度末になる

○住民に対する内容周知は広報五月号より順次掲載する

第二回議員協議会

去る五月十八日議員協議会が開催されましたので報告します。

○協議内容

定住自立圏形成協定締結について

振興課より内容について説明後、質疑応答しました。内容は以下の通り。

○締結時期は鶴居村、浜中町は六月議会、白糠町は九月議会

○観光客誘致、産業振興、医療連携等の項目が必要ではないか

今後具体策については項目毎に村の意向を反映

開催

○住民への説明は広報紙等で周知

第三回議員協議会

七月五日議員協議会が開催されましたので報告します。

○協議・内容

鶴居小学校改築について教育委員会より、経過報告を含めて説明後、質疑を行いました。

今後も継続して、説明を求めていく事で一致しました。

○鶴居村過疎地域自立促進市町村計画

(平成22年度～平成27年度) 振興課より内容について説明がありました。

平成二十一年度で失効予定であったが、二十七年までの六ヶ年延長されたことに伴い、本村も引き続き指定を受けた。

北海道町村議会議員研修会

平成二十二年度北海道町村議会議長会主催による議員研修会が七月一日札幌コンベンションセンターに於て全道各地より千七百名余の議員及び事務局員の参加の下開催されました。本議会からは議員全員十名及び事務局長が参加しました。

全道議長会川股会長より開会あいさつの後二名の講師から講演がありました。最初に元農水省農村振興局次長で経済産業研究所上席研究員山下一仁氏より農業ビックバンの経済学「グローバル化と人口減少時代の農政改革」と題して講演があり、農水省勤務時代の経験をまじえながら今後の日本農業の改革の必要性につ



いてお話になりました。

その中で六五才以上の高齢者の比率が六割以上になつてゐる。耕作放棄地が三九万ヘクタールもあり、今後も食料自給率が低下が心配される。数字をまじえながら諸外国と我が国の現状を又、自民党と民主党の政策の違いを話しました。次に政局展望と題して白鷗大学教授福岡政行氏より、参議院選挙

の現状分析、選挙後の政治情勢を独自の情報をまじえながら時にはユーモアをまじえながら一時間

三十分講演されました。会場内は真剣にメモ取る議員の姿も多く見られました。

北広島市立西部小学校視察

去る平成二十二年七月

校舎棟 4,499^m²

二日前日開催された全道

屋体棟 1,258^m²

町村議会議員研修会の帰り途中、北広島市立西部小学校を視察して参りましたので報告します。

④施設のおもな特徴
イ自然環境への配慮
太陽光発電システム導入

現在村では平成二十五年度完成を目ざして鶴居小学校の改築を計画して

で自然エネルギーを活用
ロ成長に応じた多様で自由度の高い教室

いますが、それらに対して議会としても事前に調査をする目的で視察をして参りました。

ハ地域との連携に配慮
市立図書館の分室設置
地域解放ができる体育館・和室

平成十四年度から平成十八年度までの五期間

ニ優れた耐久性と省エネ
外断熱工法の採用
ホ安全で温もりのある空間
死角の排除防犯カメラ
の設置

①事業期間

ニ優れた耐久性と省エネ
外断熱工法の採用
ホ安全で温もりのある空間
死角の排除防犯カメラ
の設置

②総事業費

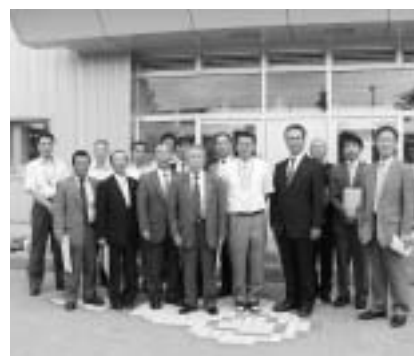
ニ優れた耐久性と省エネ
外断熱工法の採用
ホ安全で温もりのある空間
死角の排除防犯カメラ
の設置

2,369,991千円

ニ優れた耐久性と省エネ
外断熱工法の採用
ホ安全で温もりのある空間
死角の排除防犯カメラ
の設置

③総面積

ニ優れた耐久性と省エネ
外断熱工法の採用
ホ安全で温もりのある空間
死角の排除防犯カメラ
の設置



オートロック装置によるセキュリティの充実等々非常に充実された教育環境が整備されました。また財政負担等において、文科省、防衛省による補助事業をうまく活用されていたのが印象的でした。

読者の声



生活学舎のんき
主宰 大木 博

白銀の厳しい冬がさり、淡い緑の蔭の藁が芽を出し、福寿草の黄色い花が雪どけの春を呼ぶ。季節は流れ、野山には「カナカナカナ」と日暮しの鳴き声がこだまし、草原では牧草を刈り取る機械の音が忙しそうに響きわたる。先人たちの汗と涙によって創造された鶴居の大地には、「生きとし生けるものたち」の営みの初夏風景があります。

とつつまれた美しい鶴居村には、「病」と「障がい」を抱える方々への「障がい福祉サービスマニヤ」が殆どありませんでした。私は障がいを抱えた方々が地域で暮らして行けるようにと、平成十五年五月「精神障がい者のケア付き下宿」を始めました。その後は、日常生活での問題や地域社会の課題等とぶつかりながら、心ある方々の有り難いご支援により何とか運営してまいりました。いつしか入居者も増え多種多様の支援内容が求められるようになり、利用者のニーズに答えていくためには、個人やボランティアだけでは限界があり、行政や関係機関

との連携が不可欠であり、新たな運営組織を求めることになりました。平成十七年「障がい者自立支援法」の成立（身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者を一元化し、障がいを抱えた地域生活と就労を進め自立を支援する施策が行われることとなる）にともない、新たな運営体制として平成二十年NPO法人「生活学舎のんき」を設立、翌年、自立支援法に関する指定障がい福祉サービスマニヤを始めました。

鶴居村市街に、グループホームのんき（共同生活援助）・のんき工房（就労継続支援B型）の二つの事業所を開所し、現在、職員七名が働きボランティアさんの協力を受けながら、障がいを抱えた方々の福祉サービスマニヤを進めております。数年前とは違い、「障がいを抱えた」方々が市街地を通り、毎日作業所に出かけては、汗をかきながら道路沿いの草むしりをしていく姿に、「暑いのご苦労さん！」と声がかかりました。アイスやジュースを出してくれた地域の方もおりました。皆の顔にはいつも見せたことのない笑顔が浮かび、会話にも花が咲きます。また、のんき工房の横を通る学生さんたちも顔が合うたびに「今日は！」「お早うございます！」と明るく挨拶をされていきます。地域住民のご理解と暖かいご支援をいただきながら、今ではスーパーへの買い物や公共施設の利用にも自信が付き、地域での自立と社会参加が進んでおります。

村議会の動き

- 4月20日 議員協議会
議会総会
- 5月18日 議員協議会
- 5月19日 釧路北部消防事務
組合議会臨時会
- 5月24日 鶴居村議会第3回
臨時会
- 6月2日 議会運営委員会
- 6月10日 第2回鶴居村議会
定例会
- 6月30日 議員研修会
- 7月1日 全道町村議会議員
研修会
- 7月2日 議員研修会
- 7月5日 議員協議会
- 6月14日 広報委員会
- 6月21日 同上
- 7月5日 同上

あとがき

▼議会だより百二十六号をお届け致します。

今回は第二回定例会を中心に編集しました。

▼冷夏と予想されている今年の夏ですが、議会だよりが皆様のお手元に届く頃にはある程度結果が出ている事とは思いますが、なんとか夏らしい気候になっていく事を願っています。

▼もう一つ気がかりなのは口蹄疫の推移です。村長からも議会冒頭あるいは一般質問の答弁の中で万全を期す旨の発言がありました。どうか一日も早く終息を向かえる事を祈っています。

広報調査特別委員会

- 委員長 武藤 清隆
- 副委員長 吉田 保博
- 委員 瀨川 勝巳
- 委員 東 隆行